

特定外来生物 ウチダザリガニ報告

はじめに

曲沢上流域の沼（レイクウッド沼）が裏磐梯地域での繁殖地の一つであり、そこでの駆除活動は継続しながら別の繁殖地を探すこととし、村道曾原線の築部沢山麓よりの水系と思われる小川での生息を調査、曾原湖より流出の堤防沼（通称）を調査することとした。

今年度も、観光協会主催の「ウチダザリガニグランプリ」企画の中で児童・保護者参加でウチダザリガニについて知識を持ってもらうために、長瀬川にかかる五色橋たもとで砂川光朗講師による「ウチダザリガニを触ってみよう」を次世代に向けた特定外来生物講座を開催した。

調査・駆除日

2019年6月5,6日・6月20日（調査のみ）・7月3,4日・8月23,24日・10月23,24日
8月25日（講座）

調査方法

前日に沼や川に餌を入れたかごを仕掛け、翌日引き上げて捕獲し、個体を確認する。

調査範囲

曲沢上流域の沼（レイクウッド沼）、堤防沼、ヴィラ裏磐梯内小川、曾原部落入会沼、五色橋下

考 察

曾原湖の流入は曾原湖岸遊歩道脇からの小川と曲沢上流域沼からの小川の2本あり、流出口は1本でキャンプ場脇を通過して休暇村をめぐる、長瀬川になり、小野川湖に流入する。休暇村で一部支流があり、そこに堤防沼がある。堤防沼からも長瀬川に入り、小野川湖へ流入する。曲沢上流域沼からの1本は曲沢沼に流れ、大沢沼、華蔵沼、鯉沼、ジュンサイ沼と背景の山からの湧水を加えて小野川湖へ流入する。ヴィラ裏磐梯内の小川はジュンサイ沼など小野川遊歩道脇の湿地帯を通り流れ込んでいると思われる。今年度はその2つの水系に絞り繁殖地を探してみた。

堤防沼は個体が大きく、繁殖するには水位もあり浅瀬がない。休暇村キャンプ場脇の人工池は浅瀬があり、そこで繁殖して堤防沼に出てくるとと思われる。途中はグリーンシーズンには入っていくのが困難なので、冬季スノーシューで水路を確認したい。

ヴィラ裏磐梯内の小川は小さな個体も多く、第4回では抱卵したものを確認できなかったのは残念だった。水流があるので小川奥の萱など多い湿地に仕掛けるようにしたい。ジュンサイ沼入会地は4回目で萱などの浅瀬に仕掛けて抱卵個体もあったので、来年度は時期なども考慮して調査を継続していきたい。

調査者

担当：真野真理子 赤木進二 渡部のり子 ボランティア延べ4名

第一回調査駆除活動 6月5・6日

1・曲沢沼上流域沼（レイクウッド沼） 水温16℃

捕獲方法 カニ籠4個、餌：カツオのあら

雄15匹 雌4匹 欠損3匹 再生3

平均体長 9.54cm 胸一頭 3.63cm

2・堤防沼 水温19℃

捕獲方法 カニ籠2個 餌：カツオのあら

雄12匹 雌2匹 欠損1

平均体長 10.1cm 胸一頭 3.8cm

3・ヴィラ裏磐梯別荘地内 小川 水温17℃

捕獲方法 カニ籠 3個 餌：カツオのあら

雄56匹 雌88匹 欠損14匹

平均体長 6.7cm 胸一頭 2.5cm

トータル168匹（雄72・雌96）欠損21

平均体長 9.5cm 胸一頭 2.7cm



*水温の差があるものの個体の大きさ・数のちがいが大きい。ヴィラの中の小川は昨年別荘地入口の小川を確認したところ目視もしたので、今年は小川を上流まで探索し、別荘地の住人の方に許可を得て立ち入って籠をかけさせてもらった。3か所かけてみたが上流域はどこから小川になるのか途中広範囲の湿地帯となり突き止められなかった。途中流れの急なところもあり、広く浅瀬になっているところもありと、生息するには適地なのかもしれないと感じた。①・2は雌が少ないが3は雌の数が多く、また個体も小さいのが多かった。

第2回調査駆除活動 7月3・4日

1・曲沢上流域沼（レイクウッド沼）水温 14.5℃

捕獲方法 カニ籠4個 餌 カツオのあら

雄59匹 雌95匹 欠損15

2・堤防沼 水温18℃

捕獲方法 カニ籠2個 餌 カツオのあら

雄12匹 雌2匹 欠損1

3・ヴィラ裏磐梯 水温 17.5℃

捕獲方法 カニ籠2個 餌 カツオのあら

雄42匹 雌54匹 欠損3

トータル264匹（雄113 雌151）欠損15

平均体長 計測せず



*曲沢上流沼も雌の個体が増えてきた。堤防沼はいつも個体が大きく沼の淵にかごを掛けるが、ボートで沼の数か所にかけてと堤防沼での繁殖状況がわかるのか。今回は観光協会のざりがにプ

プログラム開催のための放射能計測で必要とのことで、時間的余裕なく府計測に終わってしまった。

*7月18日の曾原湖でのコカナダモ駆除活動の際に
採集したコカナダモにアメリカザリガニを発見。
五色沼にはいると言われていたが、曾原湖にもいたのは
驚きました。



第3回調査駆除活動 8月23・24日

- 1・曲沢上流域沼 水温 19.5℃
捕獲方法 カニ籠4 餌 イワシ 練り餌
雄38匹 雌70匹 欠損21
平均体長 9.1cm 胸一頭 3.5cm
- 2・堤防沼 水温 22℃
捕獲方法 カニ籠1 餌 イワシ 練り餌
雄4匹 雌5匹 欠損2
平均体長 9.0cm 胸一頭 3.5cm
- 3・ヴィラ裏磐梯 水温 20.5℃
捕獲方法 カニ籠2 餌 イワシ 練り餌
雄24匹 雌31 欠損13
平均体長 7.9cm 胸一頭 3.0cm
- 4・小野川探勝路 入会池 水温 22℃
捕獲方法 カニ籠2 餌 イワシ 練り餌
0匹 練り餌 投入時の3分の1 残存
トータル172匹 (雄66 雌106) 欠損36
平均体長 8.7cm 胸一頭 3.3cm



*曾原部落のジュンサイ沼にいると聞いたので、仕掛けてみたが、練り餌は匂いが薄く、すぐ捕獲するのには向いているが、仕掛けて時間をおくには向いていない。ヴィラのように流れがある所では失敗。

*25日観光協会のざりがにプログラムが、翌日開催で茹でて提供した。観光協会プログラムも来年度開催が検討されているようだが、中止となれば確実に曲沢周辺のウチダザリガニは増加する。多くの人がそこで捕獲できることを知っているなので、看板なり、拡散させないことが大事になるので、対処したい。



講座「ウチダザリガニを触ってみよう」講師：砂川光朗氏

8月25日 場所：長瀬川にかかる五色橋たもと

講師：砂川光朗 参加者45名

捕獲方法 カニ籠 4個 餌 イワシ 練り餌



＊観光協会主催「ザリガニグランプリ」25日の10時より、長瀬川にかかる五色橋たもとにて、砂川光朗講師による「ウチダザリガニを触ってみよう」というテーマでお話していただいた。前日にかごを仕掛けて捕獲したウチダザリガニを子供たちに触って、良く観察してもらった。

第4回調査駆除活動 10月23・24日

1・曲沢沼上流域沼（レイクウッド沼） 水温 12.5℃

捕獲方法 カニ籠4個 餌 ぶりのあら イワシ

雄152匹 雌71匹 欠損39 抱卵14

平均体長 8.2cm 頭一胸 3.2cm

2・堤防沼 水温 13℃

捕獲方法 カニ籠 1個 いわし

雄24匹 雌1匹 欠損7

平均体長 10.1cm 胸一頭 4.2cm

3・ヴィラ裏磐梯 水温 12.5℃

捕獲方法 カニ籠2個 餌 ぶりのあら イワシ

雄3匹 雌3匹 欠損0

平均体長 6.0cm 胸一頭 2.2cm

4・小野川探勝路 入会池 水温 13℃

捕獲方法 カニ籠1個 餌 イワシ

雄14匹 雌1匹 欠損3 抱卵1

平均体長 8.2cm 胸一頭 3.2cm

トータル269匹（雄 193 雌 76） 欠損 49 抱卵 15

平均体長 8.3cm 胸一頭 3.1cm 抱卵平均卵数 165

＊曲沢上流域沼で抱卵個体があったことは何よりだった。入会池で個体と抱卵の確認ができたことは来年度の活動を進めるうえで大変参考になった。

